

2025年度(令和7年度)

事業報告 および 収支決算報告

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

特定非営利活動法人 ファザーリング・ジャパン関西

1. 組織

特定非営利活動法人ファザーリング・ジャパン関西(以下、「FJK」とする)は「自ら選択したライフスタイルを心から誇れる社会の実現」をビジョンとして、世の中の父親と子どもの関わりを支援している団体である。

「父親の子育てをやばくする」のミッションの達成に向け、父親が子育てを遊ぶようにおもしろくできるよう、そのノウハウを学べる講座の開催や、父子で楽しめるコンテンツを事業として提供している。

父親が家族の一員であることを楽しめば、自然と父親の家事育児時間も増加する。子育ての責任が母親一人の肩にのしかかっている家庭が多い現代において、その責任を、父親が母親と共に担うことができれば、家庭の幸福度は上昇するとして、活動に取り組んでいる。

沿革として、平成22年5月任意団体として発足し、平成25年4月にNPO法人として登記している。

令和8年3月末日現在、理事9名、監事1名、事務局1名による経営体制で運営しており、会員数は114名(うち女性会員6名)。今年度入会者数は8名 退会者4名(今年度会費未払者2名、退会申出者2名)

令和7年度は理事会11回、総会1回を定期的に行い、法人のガバナンス体制のもと安定運営に務めた。

令和8年4月2日付け理事会において役員の互選に基づき、理事長の桜井が理事に、副理事長の浅山が理事長に就く役員体制の変更を行っている。

2. 活動の成果

みんなが子育てをおもしろがる社会の実現に向けて。

FJKは、「父親の子育てをやばくする」ことを考えています。

テーマは企業・団体向けでは、改正育児介護休業法の影響が大きく、イクボス、ワーク・ライフ・バランス(WLB)、働き方改革、両立支援といったものが多く、また、自治体・行政向けにおいても、パパの働き方や両立推進、育児休業についてのものが増えた。パパと遊ぼうや親子料理といったものが多く、いずれの事業、イベントにおいても多様な父親の姿を伝えていくために、複数の会員の参画で事業開催を行った。

(1)委託事業(プロポーザル) (敬称略)

A 兵庫県 父親の子育て参画推進業務

兵庫県内の自治体と企業を対象に、父親の子育てを推進する講座を実施。

行政、地域団体向けにて「パパの子育て応援セミナー」を12回開催。

企業向けにて「子育て応援出前講座」を8回開催。

パパの子育て応援セミナー 11本

①西脇市、②宍粟市役所子育て支援課、③三木市役所人権推進課、④南あわじ市役所、⑤尼崎市、⑥加東市役所、⑦新温泉町、⑧相生市、⑨神戸市立北図書館、⑩姫路市こどもの未来健康支援センター「みらいえ」、⑪丹波市男女共同参画センター

子育て応援出前講座 企業向け9本

①はたらく女性の兵庫県集会、②NPO 法人子育てサポート☆きらりing、③一般社団法人 Baby ガーデン、④古野電気株式会社、⑤シスメックス株式会社、⑥関西スーパー労働組合、⑦株式会社コベルコ E&M、⑧日本イーライリリー株式会社、⑨株式会社ノーリツ

(2)各種講座等(受託事業含む)

自治体や企業からの依頼を受け

年間52本(内自治体・行政向け34本 企業・団体向け18本)

の講座・セミナー等を実施した(プロポーザル事業を含む)

内 複数講師 38本 73.1%

(詳細)

行政向け 34本 内複数講師分24本 70.6%

企業向け 18本 内複数講師分14本 77.8%

(令和6年度は52本 内自治体・行政向け34本 企業・団体向け18本)

(令和6年度は61本 内自治体・行政向け31本 企業・団体向け30本)

(令和5年度は59本 内自治体・行政向け37本 企業・団体向け22本)

(令和4年度は49本 内自治体・行政向け22本 企業・団体向け27本)

(令和3年度は25本 内自治体・行政向け13本、企業、団体向け12本)

*複数会員参画事業数は、

R3年度は、16本/25本(参加率64%)

R4年度は、32本/49本(参加率65%)

R5年度は、38本/59本(参加率64%)

R6年度は、43本/61本(参加率70.5%)

R7年度は、52本/38本(参加率73.1%)

①自治体、行政向け 34本 内複数講師 24本(呼称略)

枚方市立田口山幼稚園、明石市役所 市民生活局、亀岡市 生涯学習部人権啓発課、京田辺市、福知山市こども家庭部こども家庭支援課、岐阜市行政部人事課、三木

市役所 人権推進課、西脇市役所福祉部、宍粟市役所子育て支援課、八幡市子育て支援センター(2本)、東近江市 子育て支援センター、東大阪市立四条図書館、高砂市福祉部人権福祉室人権推進課、松阪市こども家庭センター、広島県庄原市 企画振興部商工観光課、奈良市男女共同参画センター、高槻市市民生活環境部人権・男女共同参画課、南あわじ市役所総務企画部、尼崎市立すこやかプラザ、加東市役所市民協働部人権協働課、新温泉町健康課、相生市地域振興課、神戸市立北図書館、姫路市こどもの未来健康支援センター、丹波市男女共同参画センター、岸和田市男女共同参画課

② 企業、団体向け 18本 内複数講師14本

大阪ガス3本、甲南大学、、京都ノートルダム女子大学、はたらく女性の兵庫県集会、阪神電気鉄道株式会社、大阪いずみ市民生活協同組合、NPO 法人子育てサポート☆きらりing、アクサ生命保険株式会社、一般社団法人 Baby ガーデン、シスメックス株式会社、関西スーパー労働組合、株式会社コベルコ E&M、日本イーライリリー株式会社、株式会社ノーリツ、ファザーリングジャパン九州、UR コミュニティー千里住まいセンター、古野電気株式会社、

(3) 自主事業

自主事業として、会員向け、並びに会員企画、FJK 勉強会等オンラインを中心に 70 回(令和7年度は 95 回 令和 4 年度は 94 回。令和3年度は 66 回)開催参加者総数は 676 人 内会員 473 名、未会員 203 名

令和 5 年度は 1106 人 内会員 649 名、未会員 457 名

令和 4 年度は 1180 人 内会員 789 名 未会員 391 名

令和 3 年度は 974 人 内会員 819 名 未会員 145 名

自主事業 詳細

事業報告会

2025/06/20 FJK オンラインロードショー

2025/06/21 FJK 理 G 誕生企画第 2 弾！

2025/06/24 FJK オンライン読書会 #51

2025/07/05 集え、ガンダムおじさんⅢ めぐりあい宇宙編

2025/07/04 マーダーミステリー

2025/07/06 FJK 的子ども食堂

2025/07/19 FJK 的父子キャンプ

2025/07/26 リーダーシップ特別セミナー

2025/07/29 FJK 的オンライン読書会

2025/07/18 FJK ロードショー

2025/08/09 ボードゲーム@オニクル
2025/08/17 FJK ボードゲーム大会
2025/08/23 FJK ロードショー
2025/10/03 FJK 的読書会
2025/10/13 FJK パパクエ&アクサ MTG
2025/10/17 FJK 的亲睦会 神戸ローカルド平日親睦会
2025/10/19 FJK 的ボードゲーム大会
2025/10/25 FJK 的ロードショー
2025/10/25 FJK 的マタカニ
2025/11/01 FJK チャリ部
2025/11/02 FJK オンラインクリパ練習会
2025/11/03 FJK ボードゲーム大会
2025/11/09 FJK パパクエ下見打合せ
2025/11/14 FJK ロードショー
2025/11/15 FJK おいしい給食映画観賞会
2025/11/16 審議会ペチャクチャ井戸端会議
2025/11/22 FJK ロードショー
2025/11/22 パパさんママさんリレーセミナー
2025/11/23 FJK ビッグシャボン玉 PJ
2025/12/03 リアルゲーム体験会@小崎さん
2025/12/04 FJK 神戸親睦会
2025/12/09 パパクエ@岸和田 MTG
2025/12/14 FJK オンラインロールモデル PJ
2025/12/17 FJK 審議会トーク
2025/12/19 FJK ロードショー
2025/12/21 FJK 的クリスマス会
2025/12/27 FJK リレーセミナー
2025/12/18 FJK 的オンライン読書会

(4) その他の事業・プロジェクト

「泣く子を笑顔にするシール」普及プロジェクト報告書

プロジェクトの概要

子育て中の親が公共の場で感じる肩身の狭さを、社会全体でやわらげたい——そんな思いから生まれたのが、「泣く子を笑顔にするシール」の取り組みです。

これまでの啓発活動（ポスターや動画など）から一歩踏み込み、シールという小さな「きっかけ」を通じて、人が自然と優しさをつないでいける仕組みをめざしました。



クラウドファンディングの実施

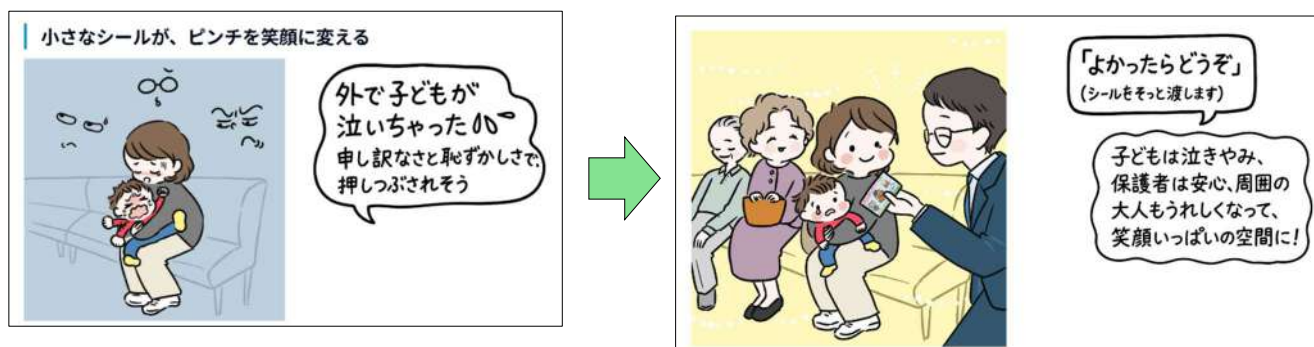
シールをより広く普及させるための資金調達として、2024 年 11 月 4 日～12 月 22 日の期間、クラウドファンディングを実施しました。

プロジェクトメンバー：37 名（FJK 会員 30 名、有識者コメンター 7 名）が力を合わせ、準備・発信・声掛けを担いました。

結果

指標	数値
寄付者数	104 名
WEB ページ閲覧数	1,688 名
SNS 接触(いいね・コメント等)	約 4,300 名
SNS 記事閲覧(推定)	約 33,760 名
SNS 記事表示(推定リーチ)	約 18 万 5 千人

ページ閲覧者のうち実際に寄付された方の割合は 6.16%。通常のクラウドファンディングの平均(約 3%)の 2 倍以上という高い成果となりました。



わかったこと——寄付が集まる理由

今回の取り組みを通じて、クラウドファンディングの成否を左右するいくつかの重要な法則が見えてきました。

①「序盤の勢い」が鍵

公開から 5 日以内に達成率 20%を超えると、最終的な成功率は 90%に達するというデータがあります。本プロジェクトでは、初日にファーストゴールを達成し、5 日後にはネクストゴールの 25%に到達。この早期の勢いが、その後の支援の広がりの後押ししました。

② 人が寄付するのは「物語への共感」

寄付は、単なる善意や義理・人情だけで生まれるわけではありません。人は「自分もこのプロジェクトの一部でありたい」という気持ち——自己投影の欲求——から動きます。FJK メンバー一人ひとりが自分の言葉でプロジェクトを語ったことが、多くの人の心に届きました。

③ 広がりの主役は「つながり」

寄付者の流入経路を見ると、約 7 割がメンバーの紹介や個別のつながりによるものでした。大規模な広告よりも、顔の見える関係の中での声かけが力を発揮しました。一方で SNS を通じて、FJK をまったく知らなかった方にもプロジェクトが届いています。



参加したメンバーの声

高橋

「FJK や関わる人々の熱量が自然と物語になっていく過程を、間近で体感できたことが何よりの喜びでした。これからは泣いている子にシールを渡して、子育て家族を応援したい。」

浅山

「単に寄付を集めるのではなく、FJK が社会課題に向き合う集団として存在していることを、社会と対話しながら確認できた。その存在価値の尊さを再発見しました。」

宮寄

「寄付してくださった方が、その後 SNS で拡散もしてくださった。もうお金の出し手というより、成功体験を共有する仲間。FJK に入りたくなるムーブメントを作れたかもしれない。」

これからの取り組み

今回の成功をもとに、シールの取り組みはさらに広がっていきます。

- ・ 海外版シールの作成(まずはニュージーランドから)
- ・ アンケート結果の分析による取り組みの改善
- ・ シール配布団体の開拓——賛同いただける企業・団体への普及

子育て家族への温かいまなざしが、日本全国に、そして国境を越えて広がっていくよう、引き続き活動を続けてまいります。



本報告は、2025年3月8日開催の報告会資料をもとに作成しました。

(5) 会議に関する事項

①通常総会

開催日 令和7年5月30日(金) 18時00分～20時00分

開催場所 道頓堀ホテル(定款23条4号に該当)

②会員向け 事業報告及び活動決算報告

開催日 令和7年5月31日(土) 21時00分～22時00分

開催場所 オンライン「事業報告及び活動決算」

③理事会 11回開催

開催日:令和6年

4月25日、6月19日、8月3日 10月28日、11月22日、12月23日

令和7年

1月27日、2月10日、3月26日、4月25日、5月30日

④監査

令和6年5月12日 橿原市リビエール会館 会議室

(6) 収支決算（令和7年度）

収益(売上) 5,576,080円(対前年比▲24.1%down)

(会費 590,500円、事業収入 4,343,360円 受取利息18,220円)

費用 6,754,328円(事業費+管理費)

経常損益額 △1,178,248円 (経常 - 30.%)

税引前当期正味財産増減額 △1,326,592円 ※2期連続損失計上

期末正味財産 13,976,454円

(前期繰越金 15,303,046円、今期キャッシュフロー △1,326,592円)

<参考までに>

令和6年度

収益(売上) 7,337,950円(対前年比120.4%up)

(会費 600,500円、事業収入 6,734,943円 受取利息 2,507円)

費用 7,692,464円

当期経常増減額 △354,514円 (経常 - 4.8%)

財産 ¥15,303,046円(前期繰越金 15,739,560円、税引き後利益 △436,514円)

令和5年度

収益(売上) 6,404,417 円(対前年比 149.9%up)
(会費 759,500 円、事業収入 5,644,792 円 受取利息 125 円)
費用 6,093,105 円
当期経常増減額 311,312 円 (経常 4.9%)
財産 ¥15,739,560 円 (前期繰越金 15,557,778 円、税引き後利益 181,782 円)

令和 4 年度

収益(売上) 4,273,078 円(対前年比 151.2%up)
(会費 715,500 円、事業収入 3,547,455 円 寄付金 10,000 円 受取り利息 123 円)
費用 3,745,785 円
当期経常増減額 527,293 円 (経常 12.3%)
財産 ¥15,557,778 円 (前期繰越金 15,112,485 円、税引後利益 445,293 円)

令和 3 年度

収益(売上) 2,825,573 円
(会費 431,000 円、事業収入 2,394,462 円 受取り利息 111 円)
費用 2,369,104 円
当期経常増減額 456,469 円 (経常 16.2%)
財産 ¥15,112,485 円 (前期繰越金 14,738,018 円、税引き後利益 374,467 円)

以上